

2019.6

㊦ さやかグループ広報誌

No. 84

SAYAKA

『This is SAYAKA』～アートフェスタ2019～

障がいがある方に潜在している、個性豊かな素晴らしい表現力。
そんな才能あふれる多様な芸術作品を展示します。是非ご堪能ください。



平成から 令和の時代へ

社会福祉法人清心会 理事長
村山 勇治

特例法によって一代限りの天皇退位が行われ、皇太子が新天皇に即位、元号も平成から令和に改められた。30年前の昭和天皇崩御による平成への御代代わりと異なり、祝賀ムードの中、新時代への期待感に満ちた船出となった。

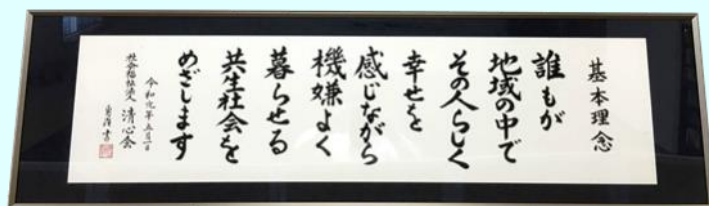
元号がどう変わろうと日々の営みに^{こそ}変わりはないが、平成最後の日 4月30日付けの新聞コラムに、俳人高浜虚子の一句を取り上げ、「去年今年貫く棒の如きもの」、旧年から新年に至る時の流れの実感を詠んだものだが、改元前日の心象と重なると書いてあった。

月並みの尊さを吟じながらも、平成から令和を貫く「棒の如きもの」は何であるべきかと問うていた。翻って障害福祉の世界に置き換えるならば、利用者さんの暮らしを支える日々の営みに^{こそ}変わりがある筈もないが、棒の如き貫くもの、それは、時代がどう変わろうとも、また、制度や仕組みがどのようになろうとも変えてはいけないものを意味している。

利用者本位、権利擁護、共生社会、とキーワードはいくつかあるものの、一言でいえば「人の命の大切さ」に尽きるのではないか。障害があってもなくてもの説明はいらない。誰もがかけがいのない命を大切に思うことがすべてのキーワードに繋がるからだ。令和新時代がどのような時代となるのか、どんな命も大切にされる社会であって欲しい。そのことを新時代のスタートにあたって、しっかりと心に刻みたい。

社会福祉法人清心会 総合施設長 岡部 浩之

平成が終わり、令和という新時代が始まりました。



本年はおそらく全ての人にとって、「節目」というものを感じる年になるのではないのでしょうか。

また、人のみにあらず、組織や物事においても多かれ少なかれ節目という場面はあると思います。必然的に訪れる節目もあれば、周囲によってもたらされる節目、どちらもあろうでしょう。

様々な考え方もありまじょうが、私たちさやかグループは一つ一つの節目を大切にしようとして常々職員に伝えています。

それはなぜなのか？「節目」とはその人や物事にとっての歴史となる出来事であると思っているからです。そして、その節目については、本人、または後継するものが必ず語り継いでいかなければならないと思っています。

昨今はこの「語り」という意識や場面が減ってきているように思えます。自分たちが大切にしてきたもの、これから目指す方向についても、定期的に語り合っ、その意味を再確認し、その姿をより明確にしていく必要があると思います。

さやかグループでは、今回の改元を機に新たな法人基本理念を定めました。

「誰もが 地域の中で その人らしく 幸せを感じながら

機嫌よく暮らせる 共生社会をめざします」

これは、法人開設から30有余年の中で節目節目で大切にしてきたキーワードを盛り込んだものです。この理念を利用者職員一人一人が理解をし、実践し、次なる世代にも引き継いでいきたいと思っています。



昔があるから 今がある



さやか学園は昭和58年4月に開園しました。当初は庭も現在ののような舗装ではなく、皆で砂利を敷き、整地をしていました。当時は制服もなく、利用者・職員ともに私服だったので外部の方からはどの人が職員ですかと聞かれることもありました。

行事では、運動会を沖電気(現埼玉富士)さんのグラウンドをお借りして家族の方も参加していただき、手作り感のあるものでした。また、さやか学園祭(現さやかのつどい)は建物内で農産物や手作り品を販売する、今から見るとこじんまりとしたイベントでした。

すべてが今より少ない人

数で、小さなイベントでしたが、それぞれ楽しみにしていました。36年が経過した現在は、徐々に利用者の方々、職員数も増えまた、それぞれの事業も大きくなっています。諸先輩方の志、苦勞があり現在のさやかグループに至っています。平成から令和に元号が変わり、気持ちも新たにスタートを切っていますが、その中でも先人達が培ってきた事を大切にしながら法人の基本理念である「誰もが地域の中で、その人らしく幸せを感じながら、機嫌よく暮らせる共生社会をめざします。」を基にそれぞれの職員が利用者の為にこれからも進んでいきたいと思えます。

アーティスト紹介

ここ数年、さやかグループでは利用者の方の「想い」を表現するアート活動に力を入れています。色々な作品展に出品をし、多くの方に知ってもらえる機会となり、また評価してもらって自信や創作意欲にも繋がる事が出来ています。アーティスト紹介ではそんな利用者の方々を紹介させて頂きたいと思えます。



今回の表紙を飾っているアーティストはかえで所属の堀口孝一さんです。昭和9年生まれの84歳です。まだまだ工作意欲は若者に負けることなく、独自の作品を作り上げておられます。いわゆる「お守り」と呼ばれている作品を、腰からぶら下げています。どこから持ってきたのであろうストラップやぬいぐるみ等、びっくりしてしまうものがぶら下がっていることもしばしば・・・。物によって折り紙を何重にも重ねて貼り付けるもの、その物の形をそのまま使う物。本人なりに考えて作っているようです。ただのお守りではありません！立派なアートです！令和になり、やっと時代が堀口さんに追いつきました！！7月にもムクゲのアート展を控えておられます。ぜひ次の作品をお楽しみに！



今回の表紙を飾っているアーティストはかえで所属の堀口孝一さんです。昭和9年生まれの84歳です。まだまだ工作意欲は若者に負けることなく、独自の作品を作り上げておられます。いわゆる「お守り」と呼ばれている作品を、腰からぶら下げています。どこから持ってきたのであろうストラップやぬいぐるみ等、びっくりしてしまうものがぶら下がっていることもしばしば・・・。物によって折り紙を何重にも重ねて貼り付けるもの、その物の形をそのまま使う物。本人なりに考えて作っているようです。ただのお守りではありません！立派なアートです！令和になり、やっと時代が堀口さんに追いつきました！！7月にもムクゲのアート展を控えておられます。ぜひ次の作品をお楽しみに！

アーティスト堀口孝一さんの
作品が生で見られる！！

『This is SAYAKA』～アートフェスタ2019～

とき 7月2日(火)～8日(月)
午前10時～午後4時

ところ ムクゲ自然公園内 森の美術館 入場 無料
秩父郡皆野町皆野4048-1

※作品のグッズ販売や、併せてぽっぽでお馴染みのラスクの販売等も行ないます。

職員紹介



4月より入職いたしました大瀧まり恵と申します。配属は高篠事業所でお世話になっております。まだ慣れない事もありますが、よろしくお願い致します。

私は、おいしいものを食べるのが大好きです。よく「肉ばかり食べてるんでしょ」と言われますが、肉より魚派です。（でもお肉も好きです）旅行も好きで、ご当地グルメ巡りを楽しんだりもしています。秩父グルメはみそポテトにはまりました。清心会への入職を機に秩父へ引っ越してきたので、これから秩父のおいしいものを沢山見つけたいと思います。おすすめのお店などありましたらぜひ教えてください！

銀河、すい星ホームでお世話になっております。入職1年目の岩城聡です。趣味は、マラソン、ギター弾き語り、野球観戦で、ライオンズをこよなく愛しており、球場で応援しながら仲間と飲む酒は格別で、勝っても負けても飲み過ぎてしまうのが悪い癖でもあります。興味がある方は是非声を掛けて下さい。私自身、まだ未熟者ですが、利用者さんの長所を伸ばせる様支援を行っていきたいと思いますので、皆様ご指導の程よろしくお願い致します。



幸恵さんの「とりあえず喰ってみ！」

煮卵の巻

昔々ラーメン屋で半熟の煮卵に出会った
しっかり味がついているのに
黄身がとろ〜りとしているのが 当時は不思議でならなかった
それからずいぶん年月が経ってから自分で作れることを知り作ってみた
試行錯誤の結果
半熟のゆで卵を市販のすき焼きのたれに漬け込むのが一番おいしいことが分かってきた
難しいのは、半熟卵
科学的に調理ができない私はいつもゆで卵に勝負をかける
だから上手にできた時の感動は一入である



作り置きして味が変わってく煮卵を楽しむのもすごくいい
今度の休みに久しぶりにつくってみようかな

予約不可！
話題の限定

珈琲食パン

1斤¥380-税込



今、話題の生食パンを意識して、モチモチでしっとりを意識して製造しました。マール状にコーヒークリームを練り込み、食べるカフェオレのようだ！との評判も……。道の駅秩父、アグリマルシェ横瀬店の限定商品として販売しています。製造の都合上、予約販売は致しておりません。

＝編集後記＝

新元号「令和」がスタートし、早一か月が経過しました。気持ちも新たにスタートを切った方も多くいらっしゃるかと思います。今年度も引き続き田端が広報委員長を務めさせていただきますが、新しいメンバーも加わりました。皆さんに読みやすい様にレイアウトを変更し、デザインも一新しています。引き続き皆さんに楽しんでもらえる様に情報発信していきたいと思うので、よろしくお願い致します。

